

1001

レーニン確實に死す
(屍を公衆に觀せる)

大正十三年一月廿四日



1002

攝政宮
良子女王
御成婚

大正十三年一月廿六日



1003

衆議院解散之日
大正十三年一月三十一日



1004

オルソン死す
大正十三年二月三日



江戸以来の烈震

大正十三年二月十一日



- ▲元和元年六月一日正午
- ▲寛永五年七月十一日正午
- ▲同七年六月二十三日夜半
- ▲同十二年一月二十三日午後一時
- ▲正保四年五月十四日午前五時
- ▲慶安二年六月二十日午前二時
- ▲同年七月二十五日午後一時
- ▲元禄十年十月十二日午後一時
- ▲同十六年十一月二十三日午前二時
- ▲寛永三年九月十五日夜十一時
- ▲天明二年七月十四日午後二時
- ▲文化九年十一月四日午後三時
- ▲安政二年十月二日夜十時
- ▲明治二十七年六月二十日午後二時四十分十秒
- ▲大正十二年九月一日午前十一時五十八分



1006

濫賞

大正十三年二月十二日



杉浦重剛之位



大倉男

1007

総選挙

狐狸中原の
馬を争ふ

大正十三年

二月二十日





1009

鬼哭啾啾(冊那ト子ル)

大正十三年二月二十五日



1010

當冬の收穫

大正十三年二月二十九日

浪石在明

小山健三

加藤正義

河野慶中

玉本辨太郎

原勝郎

神保小虎

柴山矢八

相馬永胤

萩野由之

長谷川好道

正元

照勤

飯田義一

橋田花重

松浦重剛

飯田義一

橋田花重

大正十三年二月



大正十二年九月一日大震及主なる餘震

月日	發震時	震動ノ大サ	週期	震央
1 9 1	11 58 44	103.0	1.5	大島地方沖
2	12 1 52	90.9	2.0	主震の附近
3	12 40 20	39.4	2.0	主な
4	12 48 3	57.6	2.0	・
5	14 22 49	21.2	1.5	相模灘
6	11 46 55	69.7	2.3	房總南東部
7	14 10 21	9.1	1.2	東京灣東部
8	18 27 4	57.6	2.6	一ノ宮沖
9	18 49 2	9.1	2.3	九九里濱沖
10	22 9 29	45.5	4.6	房總遠洋
11	23 16 46	9.1	1.5	相模灘
12	26 17 24 3	26.0	2.3	大相模南東部
13	10 4 0 54 29	10.2	0.76	相模西部
14	5 22 5 46	3.7	0.8	・
15	11 5 5 45 51	15.0	0.5	武藏中部
16	23 11 33 52	7.8	0.8	鎌倉沖
17	15 5 50 24	59.0	1.8	相模中部

1011

大正十二年九月一日以来の重なる餘震



大正十三年三月一日

1012

松方公死に損ふ
大正十三年三月三日



トー
あさい
まーた

松
ダヤダ
入れて
呉れかい

娑婆

冥土

鬼
出直して来い

地獄界



1013

試驗七國

大正十三年三月十五日



日米親善會？！

大正十三年四月四日

(朝鮮總督官舎晩餐會にて)

伊東忠太



ヤング夫人

日本人立ち
入るからず
北米合衆国

排日案通過

大正十三年四月十六日



1016

波澤老泣く

大正十三年四月十七日

清浦

カリーニ

たいした

問題じゃない

波沢

「六十年の苦辛や

水の泡

ア、生き甲斐もない

松井

「ドーモ仕方がない



1017

総選挙の跡

大正十二年
九月十二日



総選挙勝負附

大正十三年五月十三日



四〇六 小川半吉
四〇二 北茂藤平

八五九 高橋是清
八二〇 田子一民

四〇一 三嶋山一寛
三六八 佐木安五郎

三三三 近藤達
三三二 高木益太郎

四〇四 佐藤
四〇三 田中雄

二五八 永井柳太郎
二五七 暁道文藏

三六九 佐々木
三六八 佐々木

九四九 佐々木
九四八 佐々木

三三六 岸本
三三五 岸本

三三三 佐々木
三三二 佐々木

二〇五 八木
二〇四 八木

三三三 佐々木
三三二 佐々木

西蘭仙



本日



1019

東西政局競べ
大正十三年五月十四日



1020

亡命の名入孫文死す

大正十三年五月十日





1021

英仙米世界一周
飛行機競争

大正十三年
五月十六日



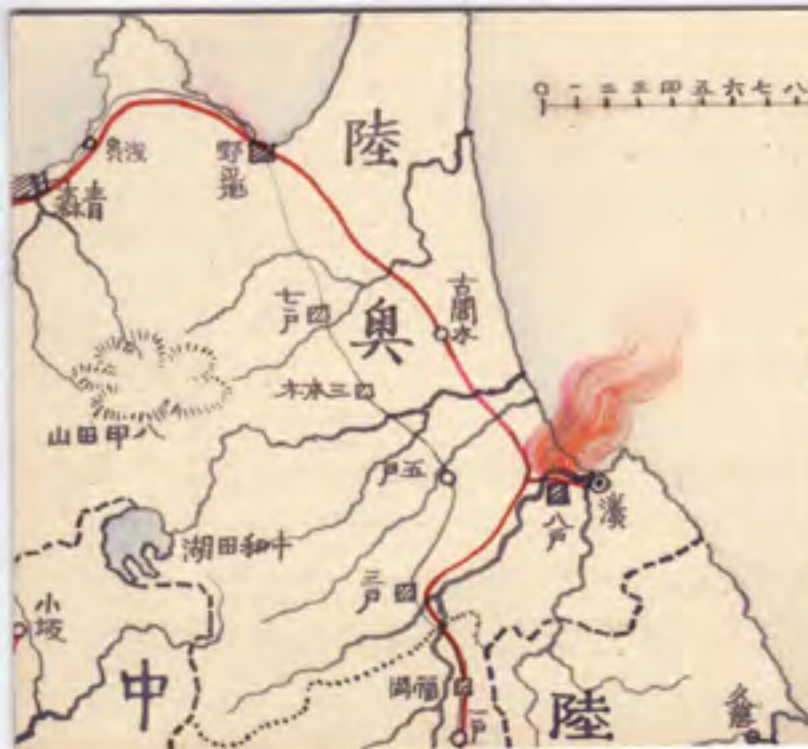
1022

八戸大火
(千三百戸焼失)

大正十二年
五月十六日



0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 十里



1023

天本教の末路

(王仁三郎馬賊)
子掠はる



大正十三年
五月十八日



松公老ける

大正十三年五月廿一日



松方
地震が
あつたてー



1025

首相西園寺に詣づ

大正十三年五月廿六日

首相

「トローか死んでも
いのちの
有ります様」に



加利米亞



本日



1026

此の国辱を奈何
大正十三年五月二十七日



1027

國士憤死す

大正十三年五月三十一日



1028

當春の收穫

(自三月至五月)

大正十三年五月三十一日



和田豊治 戸田海市
 甲中長兵房 相良頼紹
 安藤保太郎 竹本越路奎
 華頂宮博忠王中隈敬藏
 西村精一 福原有信
 沢村宗之助 佐竹義準
 伊藤梅子 五味均平
 中井喜太郎 伊集院彦吉
 磯田 良 大井卜新
 小柴保人 渡辺芳太郎
 安田 篤 正木照藏
 竹内直哉 佐分利一嗣



1029

死

大正十三年六月二日



情死



「美しい死だ」



窮死



「馬鹿な奴だ」



憤死



「気が狂ったんでしょ」



1030

東宮御成婚饗宴

大正十三年六月三日



頭山滿始めて
洋服を着る

1031

内閣総辞職

大正十三年六月七日



清浦

コヤレク
コデ安心した

水野

コアー!
ツマラナイ

鈴木
マシダ
馬鹿
シイ



1032

舞踏征伐(帝国ホテルまで)
大正十三年六月七日



壯士
悲歌慷慨起劍舞
米奴紛々肝胆寒





1034

加藤内閣成る

大正十三年六月十一日



總理

加藤

内務

若槻

外務

幣原

大藏

漢口

司法

橫田

文部

岡田

農商

高橋

逓信

犬養

陸軍

仙石

海軍

財部



1035

聖獸タゴール

大正十三年六月十三日



英

又鳴き
出しぬか

タゴール

同書哉汝日本
東洋の盟主たり

日本

「南無吽摩盧
大菩薩」





1036

K.K.K.

大正十三年六月二十七日



1037

佛国美術展覧會

大正十三年六月三十日



敬言視
「見せろ
あとには
まかりあらん

「怪しからん、
藝術の神聖を
冒瀆するものだ

1038

米大使館旗を盗まる

大正十三年七月二日



米
泥棒
々々



盗賊
コザマー
見やがれ

1039

奢侈品重税

大正十三年七月七日



贅沢家

日本品の様子が
劣悪なものか
使へるものか
イクラ高くなる
外国品に限る



危ヒ哉

大正十二年七月十日



1041

復興建築難

大正十三年七月十六日

甲
おれが
能率的だ



乙
おれが
藝術的だ



丙
おれが
日本趣味だ



1042

臨時議會終る

大正十三年七月十九日



甲 四百八十子



乙 ツマラネー
夜席だ



御退屈さまで



1043

米領事慘殺

(波斯テヘランにて)

大正十三年七月廿日

甲
「聖泉子毒を
投する悪魔め」

乙
「教敵思ひ知ま」

「領事
神よ
助け
玉へ！」



1044

華盛頓會議の犠牲

(肥前撃沈さる)

大正十三年七月廿五日



1045

何處の誰だ

大正十三年七月廿九日



1046

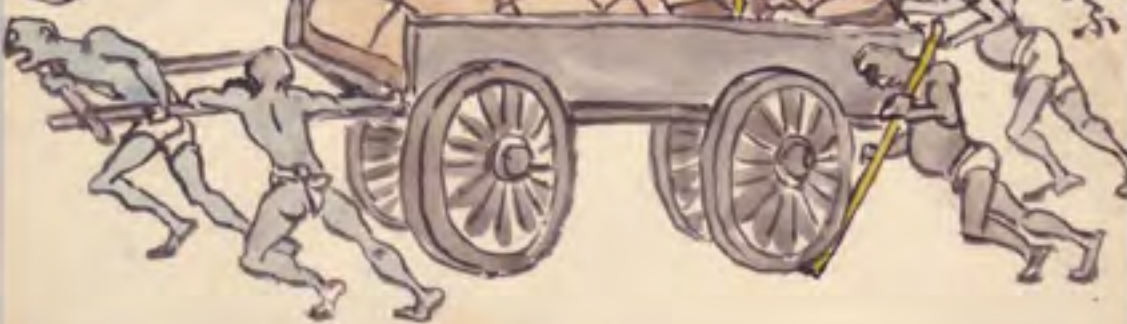
更に荷重を加ふ

参り官

大臣

政務次官

大正十三年
八月十五日





火星近づく

三百六十年一度

距離三千四百六十三万七千哩

大正十三年八月廿三日

午前九時



欧
「やー、中々美人だ」

米

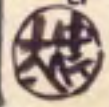
「やー、何か合図を
して居る様だ」

日本

「何れか
よく見へおい」



當夏の收穫自六月一日
大正十二年八月三十日



小出錦太郎 戸田氏秀
伊東祐順 早部四郎太
守屋伍造 松方正義
黒田清輝 一條貞輝
西村寿二郎 安成貞雄
野田勇 西村時彦
市来政方 安藤謙介
鹿島清兵衛 郡司成忠
今西林三郎 本尾敬三郎



支那内訌

(例子よつて例の如し)

浙江

助けて
呉れ

江蘇

助けて
呉れ

大正十三年九月一日



1050

東京市市長を棒で振る

大正十三年九月六日



助役

市長

岡野

大道



大道

2



碁盤主義

(支那英雄の心事)

大正十三年九月十日



長柵子臨する
張作霖、
調策を
客からず



二壺天作の
吳佩孚は
成程
勘定
上手



ウツカリ出ると
孫文だと
北伐中止



1052

いのち

大正十三年九月十日

自稱
天才
島田清次郎



島田

「馬鹿ッ、
天才が死ぬと云ふに
ナゼ早く助けなさいか

加藤神邦丸船長

「死ぬのは
止まましやう」

「死ぬのは
止まよう」



1053

井上準之助見込まる

大正十三年九月十九日



井上
勘忍
して
呉れ

市議
ざりとは
つきあい
ぞへ



白露交渉停顿す

大正十三年九月二十日



1055

長岡半太郎博士鍊金術發明

大正十三年九月二十日



1056

大蛇

大正十三年
九月廿日

伊東米治郎

春藤実

伊沢多喜男

浜田雄幸



1057

中村是公東京市長とある
大正十三年十月九日



1058

大倉男

米主壽

大正十一年

十月廿日

娘

渡り来て

浮世のあと

見かへれい

命をかけて

危ふかり

けり

鶴倉



1059

郵船會社の為体

(浪沢老幹旋)

大正十三年十月廿二日



1060

目出度き日

大正十三年十月二十五日

明治神宮競走場開場 帝大講堂上棟



支那局面變化

大正十三年十月二十六日



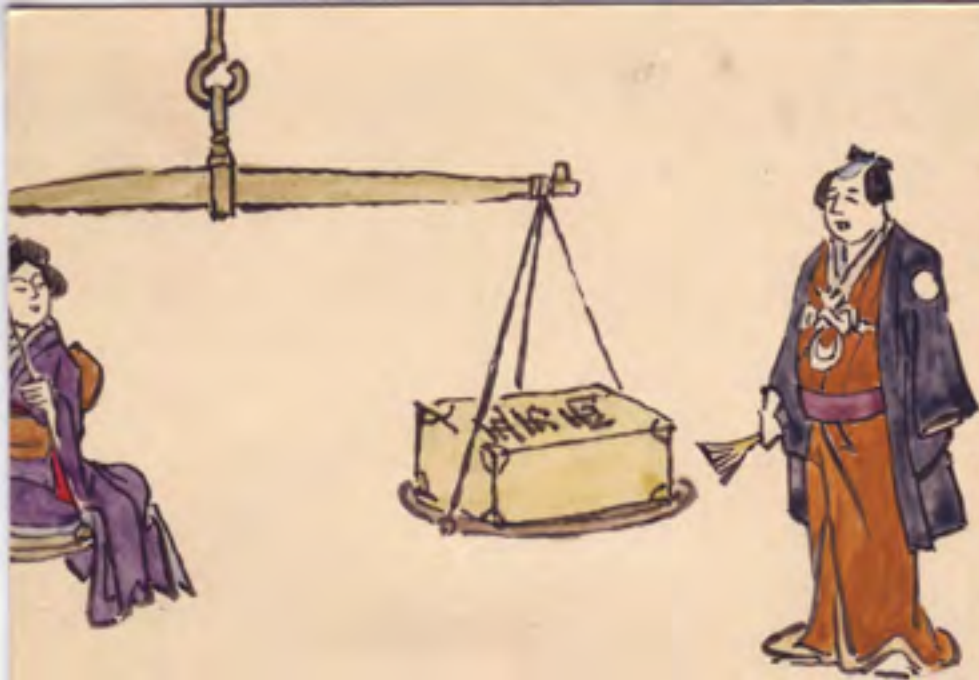
1062

高田早苗
黄金浴大正十三年十月
二十七日

1063

加賀様

大正十三年十月二十九日



1064

英国総選挙
(保守党大勝利)

甲
對岸の大災
視しては
いけあい

乙
ソーか

大正十三年
十月二日



1065

宣統帝廢さる

大正十三年十一月六日



政府
早く出て行け

廢帝
五十万円あれば食って行ける
結局気楽でいい



1066

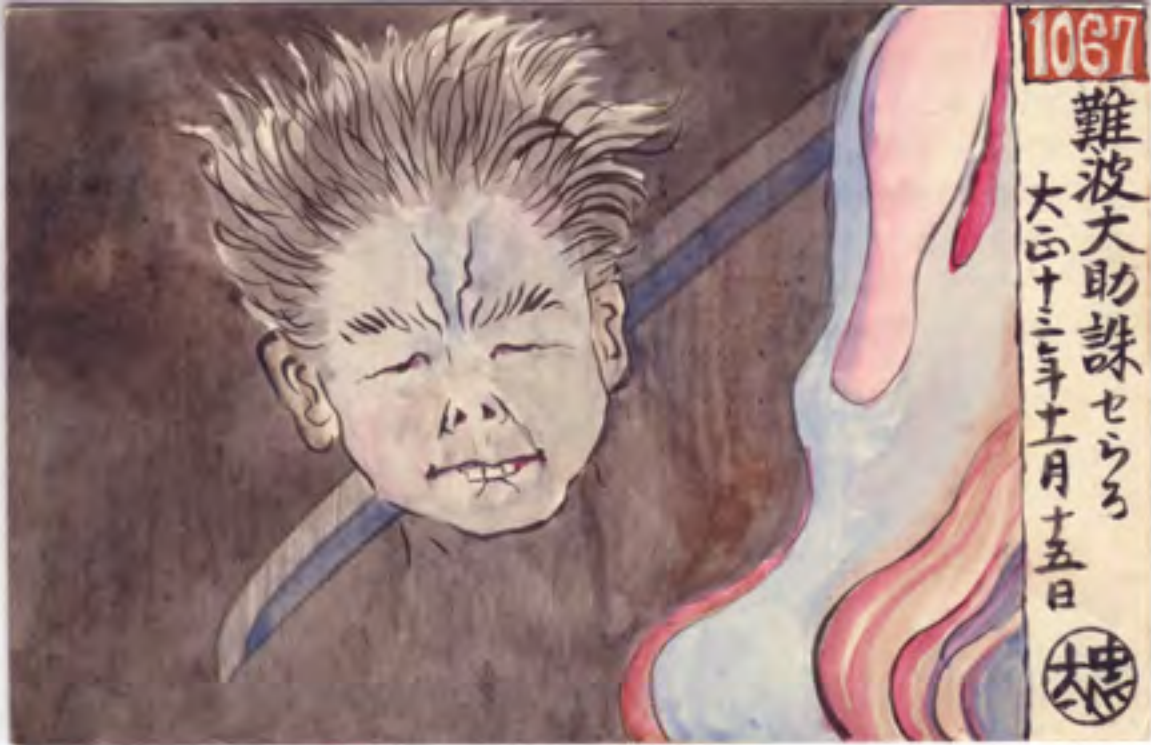
米大統領選挙

大正十三年十一月六日



クリーッヂ
又オレ様が
当選したぞ





1067

難波大助誅せらる

大正十三年十一月十五日



1068

博士濫造

サー医博士
の大安売イラッシヤイ
イラッシヤイ

	法	医	薬	工	文	理	農	林	獸	經	商	合計
旧規	182	762	25	323	141	146	103	32	20	—	—	
新規	5	397	5	22	7	23	21	1	2	4	2	
合	187	1159	30	355	148	169	124	33	22	4	2	2226

大正十三年
十一月廿五日

當秋の牧獲(自九月至十一月)

大正十三年十一月三十日



奥殿系三郎青木全郎
 河村善益小田信藏
 今村有隣今尾景年
 滋野清武山口俊太郎
 阪谷恭子田邊輝實
 阿部泰藏今村勤三
 三遊亭四朝榎本武憲
 ロッケ 佐采吉三郎

1070

職首裁萬(行政整理)
大正十三年十二月七日



1071

丑

甲

「西」の字に「牛」の字を
くっつけて「西牛」とする



乙
シッポへ火を
つけたい
いに



大正十四年

一月一日

1072

穂田の怪行者
大正十四年一月十日

「御用だ」

飯野
何をザワ
と騒ぎ居る

「御用だ」



1073

日露協約成る

大正十四年一月廿二日



1074

五色の雪東京深二尺
大正十四年一月三十日



1075

不景気のドン底

大正十四年二月三日



満員客止め

が亭

満員客止め

天金

満員客止め

錦水

満員客止め

山水樓

満員客止め

福座

各等切符と乗切車ハ

満員客止め



1076

心細き日本

重要物資
年産額比較表

数字は萬單位

大正十四年二月十日

	日本	アメリカ	英	獨逸	仏	伊	印度	支那	爪哇	瑪瑙	南洋	その他
石炭	(トン) 2800	45000	7000	2700								
鉄	(トン) 66	1700	260	600	400							
石油	(バレル) 260	50000										
金	(オンス) 23	230	(金匁) 1000								92	
銀	(オンス) 475	5700									6200	
銅	(トン) 5.5	55										11
棉	(捆) 12	843					448					
砂糖	(トン) 43						220		160	300		
小麦	(トン) 80	2130					400					
生絲	(ボク)	400				66		200				

1077

東京市の道路

大正十四年二月十五日



1078

世界石油産額(一九二四年)

大正十四年
二月十日

新單位(一桶=我々斗)伊本博士調査



北米合衆国

七二八〇〇〇〇〇〇

メキシコ

一四五〇〇〇〇〇〇〇

ロシア

四九〇〇〇〇〇〇〇

ペルシア

三〇〇〇〇〇〇〇〇

蘭領東印度

一五〇〇〇〇〇〇〇

ルマニア

一三〇〇〇〇〇〇〇

ウズベク

八二〇〇〇〇〇〇

印度

七五〇〇〇〇〇〇

ペルト

六五〇〇〇〇〇〇

北ボルネオ

四五〇〇〇〇〇〇

アルヘンチナ

三五〇〇〇〇〇〇

トリニダード

二五〇〇〇〇〇〇

日本

一七〇〇〇〇〇〇

エチオピア

一〇〇〇〇〇〇〇

フランス

五〇〇〇〇〇〇

ドイツ

三五〇〇〇〇

合計

一〇一三〇〇〇〇〇〇〇

1079

高田商會破綻

大正十四年二月十九日



1080

普選案上程
大正十四年二月廿日



1081

茶目

加藤
坊やも
よく口が廻り
様はおつたね

鳩山
おちさんの
顔が気まぐわあい



大正十四年二月二十三日



當冬の收穫

（自太字二年十月
至太字四年二月）
太字十四年二月二十日



三樹 一平 戸川 殘花
手塚 正次 谷本 眞男
グンパ 一不 青木 宣純
中村 靖之助 遠藤 剛太郎
系井 靖之助 富岡 百鍊
大井 芳太郎 中村 落次郎
岡寄 芳樹 保田 正久
柴田 睦四郎 植村 正久
木内 重四郎 久我 通久
川路 利恭 久保 田政周
藤間 勘助 塩谷 時敏
中村 千之助 東儀 鉄富
横田 千之助 宋 重天坊
菱田 唯藏 中原 南天坊
高橋 克己 渡辺 康吉
大島 鏡治 関 和知
中島 新三郎 佐柳 藤太
小池 富守 根村 富守
鈴木 繁根 小池 富守
工部 一木 小池 富守

1083

宣傳



大正十四年
三月五日



治安法
醜妓院の
左の脇腹
より産る

大正十四年

三月七日



1085

貴族院改造

甲
モースツカリ齧つ
て居る

乙
コノ不自然な
様式を改定
せられぬ

大正十四年
三月十日



1086

郷

藤山



藤山と郷(東京南業令成町分頭金)
大正十四年三月十二日



1087

鉄の産額

大正十四年三月廿日

一九二三年度 桂博士調査



国名	銑鉄(トン)	鋼鉄(トン)
合衆国	四〇二五〇〇〇〇	四四六五〇〇〇〇
大英帝国	七四〇八六〇〇	八五八五〇〇〇
獨逸	四七五〇〇〇〇	五五〇〇〇〇〇
仏郎西	五二五二七〇〇	四八二二〇〇〇
ベルギー	二二七二二〇〇	二二一〇六〇〇
日本及朝鮮	八九四〇〇	九〇四八〇
その他		
合計	六〇七二五三〇〇	六六六六二二〇〇

1088

石炭産額

大正十四年三月二十日

一九二三年度

桂博士調査



国名

産額(トン)

合衆国

五七九四五二四九

大英国

二八二九七〇五三五

独乙

一八九五四四〇五五

仏郎西

三八五四三六七〇

ポ^ロランド

三六〇九七九九七

日本<sup>(台湾
樺太)</sup>

二八〇〇〇〇〇〇

ソノ他

合計

一三三七〇〇〇〇〇〇

1089

銅の産額

大正十四年三月二十日

五三三年度 桂博士調査



国名

産額(トン)

合衆国

六五〇九一二

チリ

二〇三二五六

アフリカ

七三九〇九

日本

六三七九〇

メキシコ

五九九二〇

西班牙及葡萄牙

五一八一五

ペル

四三八五六

カナダ

三六四九六

オーストラリア

一七九四六

独乙

一七〇〇〇

その他

合計

一二六五七九四

1090

金の産額

大正四年三月二十日

一九一三年度

桂博士調査



国名

産額(弗)

トランスवाल

一八七〇〇〇〇〇〇

合衆国

五一七三四〇〇〇

カナダ

二五二九四〇〇〇

オーストラリア

一八〇九〇〇〇〇

メキシコ

一六〇五七〇〇〇

ローデシア

一三〇〇〇〇〇〇

南米

一一四〇〇〇〇〇

英領印度

八六〇〇〇〇〇

日本朝鮮

七五〇〇〇〇〇

ソノ他

合計

三五八九七五〇〇〇

第五十議會終了

大正十四年三月三十日



1092

劇場

大正十四年四月二日

帝國劇場

歌舞伎座

新橋演舞場



大正時代

明治後期

明治前期

1093

變る世の中

大正十四年四月十日



「大臣様」

「大臣君」

「大臣の
野郎」



1094

田中義一

政友城に入る

大正十四年四月十一日



1095

ラヂオ

大正十四年四月二十日



1097

大養毅政友會の
軍門ヲ降る



政友會

大養

大正十四年五月九日



1098

銀婚式

大正十四年五月十日



比利賓の
選手憤帰す

大正十四年五月廿三日



1100

但馬激震

大正十四年
五月二十三日

善城

福豊

鑑公
「久し振
り
で好い心
中だ」

